教育情報誌　2020（令和2）年6月1日

しべつ川

No.261号

標津町教育委員会　TEL 0153-82-2900

笠井事務所前

春のあいさつ運動「街頭啓発」実施

健全な青少年を育てる標津町民の会では、４月６日㈪～４月10日㈮まで、春のあいさつ運動「街頭啓発」を町内の通学路や交差点で行いました。期間中は町内各小中学校、こども園、ＰＴＡ、標津高校生徒会、町内会の皆様や老人クラブ協力のもと、町教育委員会で連携して、町中があいさつで溢れるよう啓発運動を実施しました。

期間中には気温が低く雪が降るなど、暖かい春を感じられない日もありましたが、協力いただいた皆様が明るくあいさつをすることで、登校する子どもたちの元気な笑顔を見ることができました。町民の皆様にも日頃から、登園、登校中の幼児や小中高生にあたたかい声をかけていただき、今後とも「日本一あいさつが飛び交う町」を目指していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染
拡大防止に
配慮しながら
ご協力いただいた皆様、
ありがとうございました。

標津高等学校前

川北

標津中学校横

第5回

元気に頑張る標津の子サミット

令和元年12月14日㈯に開催された「第5回元気で頑張る標津の子サミット」で発表していただいた児童生徒の発表内容を連載しており、今回は標津中学校・川北中学校の発表をご紹介します。

子どもたちが「他者との関わりから学んだこと、自分の存在価値を感じたこと、誰かの役に立てたという達成感を感じたこと」をテーマにした発表内容をご紹介します。

❶ 標津中学校 《標津中学校吹奏楽部》

発表者 **《２年生》**・管原　知廣　・三田　勝也　・小野瀬　叶　・戸田　月乃　・松崎　莉里香

発表者 **《１年生》**・山中　快斗　・高橋　哉海

発表テーマ 部活動としての関わり～一期一演～

皆さん、こんにちは。標津中学校吹奏楽部です。今年は「一期一演」という目標のもと、13名という少人数で活動をしてきました。「一期一演」という目標には、「当たり前のことを当たり前に」「少人数でも良い演奏を」「納得できる演奏」「一つひとつの演奏を大切にできる」「人の心を動かす演奏」「やってて良かったと思える部活」という意味を込めました。この目標のもと、活動してきた中で感じたことを、本サミットのテーマに沿ってお話させていただきます。

まずは、１つめのテーマ「他者との関わりから学んだこと」についてお話します。吹奏楽部として活動していると、本当にたくさんの人と関わることができます。まずは、「部員」との関わり。先輩・後輩問わずにあいさつを大きな声で元気よくすることや、人を大切にする気持ちを持つと部の雰囲気も良くなると学びました。そして、日頃意識している元気なあいさつは、今までの本番でもお客さんにも披露できたと感じています。

次に、「クラスメイト」との関わりです。実は部活をしていたことで、クラスメイトの存在のありがたさを感じることもありました。３年生が、コンクールや定期演奏会などの本番前に帰りの会で応援メッセージを送ってくれたり、たくさん応援に来てくれたことで、より頑張ろうという気持ちになれました。応援をし合える関係は大切だと学びました。

次に、「家族」との関わりです。遠征やお弁当づくりで、家族に大きな負担をかけてしまったけれど、それでも活動を応援したり、支えたりしてくれたことに感謝しています。自分が好きなことをやるために支えてくれる家族の存在の大きさをあらためて感じました。部活をやっている人なら分かるかもしれませんが、「他校」や「講師の先生」との関わりもあります。合同練習をさせていただいた学校や、講師の先生などとの関わりを通して、良いところや課題点などが多く見つかるので、勉強になりました。

そして、吹奏楽ならではの人との関わりは、やはり「お客さん」との関わりです。音楽でふれあう中で、お客さんの笑顔などを見ると、よりお客さんとの距離が近くなった気がして、私たちの目標にある「一期一演」の中でも、特に、人を動かす演奏ができたなと実感できました。また、本番を終えると、毎回のように「来て良かった」などの言葉を多くの人から言ってもらえるのは本当にありがたかったです。いただく言葉の中には「もっとこうしたら？」や「何々が良かったね」という具体的なアドバイスもあり、そこの部分を改善しようと思えるので、励みになりました。また、今年はありがたいことに、全道大会にも出場させていただきました。全道が決まってから「おめでとう」「頑張れ」などの言葉をたくさん言っていただき、言ってくださるたびに、「頑張らなきゃ」と思って練習に臨めたので、一言の応援だけで人の心が動くことはすごいと思いました。

続いて、２つめのテーマ「自分の存在価値を感じたこと」についてお話します。吹奏楽をやっていると13人という少人数である自分たちに不安を感じることもあります。こんなに少なくて、どんなパフォーマンスができるのだろうかと。でも今年は、少人数だからこそ、一人ひとりの音や役割の重要性を感じ、自分もこの部に居た方が良いのだと感じることもできました。13人、一人ひとりが全員のために努力し、全員の役に立っていた１年でした。部員の誰かが抜けた日には自分たちの演奏ができず、全員が全員必要な存在なんだなと改めて思いました。これは、人数が多い部活であっても同じはずです。

また、「音楽の世界は結果がすべて」ではありませんが大会で評価をしていただけると、あらためて存在価値を感じることもできました。

ある部員の話をすると、「自分は通院などで部活を休むことが多く、たくさん迷惑もかけてしまうと感じていて、いつも《自分がいていいのかな》とか《いなくても変わらないんじゃないかな》とか思っていたけど、そんなときに周りから「あなたはいなくてはならない存在」と言ってもらえたことが、とても嬉しかった」と話していました。部活をやっていたからこそ感じることのできた存在価値だと思います。

私たちは、お客さんの笑顔が見られることで存在価値を感じることもあります。たくさんの笑顔を見せていただいたからこそ、音楽はその場の雰囲気を明るくできる力を持っているという実感が湧いてきました。それを私たちができているということに、私たちの存在価値を感じます。これからも標津町の皆さんを笑顔にできるよう、音楽や行動面に自信をもって活動できる部活でありたいと思います。

最後に、３つめのテーマ「誰かの役に立てたという達成感を感じたこと」についてお話します。私たちは、今年の活動で「一期一演」を達成できたと感じています。それは、全員が揃って、一つの目標に向かって練習をすることができたからだと思います。練習方法も常にみんなで考え続けました。一人ひとりが、13人のために活動できました。大会のときには、金賞と言われたとき、後輩が苦手だったところも諦めずに教え続けてよかったと思いました。全道大会に参加することができ、部員の家族が自分のことのように喜んでくれたり、涙を流してくれたりしたこともありました。応援してくださった全ての人に、最高の恩返しをできたことも私たちにとっては達成感でした。様々な本番のあとも「良かったよ～」という声をかけていただくことが多く、そのたびに力をもらったし、大きな達成感を感じられました。

また、前部長は、部長になってから「みんなが楽しいと思える部活」を目指していました。集大成である定期演奏会が終わったあとに、「今日楽しかった人―？！」と聞くと、みんな手を挙げてくれたときに、大好きなみんなの部長でいられて良かったと達成感を感じたそうです。きっと、ここで全員が手を挙げられたのも、一人ひとりが13人にのために活動できたからです。

部活をやっているからこそ大変なこともあります。部活をやっていない人に比べれば、休日だって、放課後だって自分の時間は少なくなります。でも部活をやっているからこその出会いもあります。そして、今こうやって発表をしていると、部活に入らなければ経験できないことがこんなにもたくさんあるんだな、とも感じます。私たちは部活に入ることを選んだ人たちです。そして、部活をやっているからこそ出会えた仲間です。３年生が引退し、今は７人での活動ですが、今後も７人で協力しながら、標津中学校吹奏楽部の良き伝統は受け継ぎ、さらに磨きをかけて、応援され続ける部活であれるよう頑張りたいと思います。

❷ 川北中学校 《川北中学校１年生》

発表者 ・村山　杏樹

発表テーマ❶ 園小中合同ボランティアを通して学んだこと

川北地区では、園小中の子どもたちが一同に集まって、毎年ゴミ拾いのボランティアを実施しています。通常は９月の第２週に行われる、川北神社祭が終わった後に実施していますが、今年は時期がずれて、10 月15日に実施しました。こども園も、小学校も、中学校も、それぞれ行事があり、その合間を縫っての計画なので、大変な部分もありますが、普段、園小中同時に交流することはほとんど無いので、毎年楽しみにしています。

班の中に園児、小学生、中学生が入るように、全体を６つの班に分け、さらにその班を３つに分けて、手分けして川北の街のごみ拾いをします。各班にいる中学生が、園児や小学生に指示を出します。指示

を出すのが得意な人ばかりではないので、事前に、中学生リーダーで、流れをシミュレーションしたり、色々な事を想定して、打ち合わせをしています。いざ当日やってみると、来年に向けての課題点も見えてきました。

良かった点は、

①川北の街がきれいになったと同時に、川北の街は普段ゴミ拾いをして下さる方がいるおかげで、きれいだという事を実感した

②下の子へ対して優しく、思いやりを持って接することの大切さがわかった

③指示を出す時に、園児や小学生にわかりやすく伝えることの難しさがわかった

④指示を出す立場の人は、責任感が身についた等です。

改善点は、

①ゴミが少ない場所を担当した班は、すぐゴミ拾いが終わってしまった

②指示がわかりづらい時があった

③ゴミ拾い用に持ってきた個人のゴミ袋が、ゴミになってしまった等があるので、来年度は、ゴミ拾い場所を検討したり、よりわかりやすく指示できるようにしていきたいです。

このように、園小中ボランティアを通して、私たち中学生は、多くの事を考え、経験することができています。これからも、よりよい活動ができるよう、見直し、改善していきたいと思います。

発表テーマ② 「にっこりメッセージ」の取り組みを通じて感じたこと

川北中学校では、行事の後などに、「にっこりメッセージ」と題して、他学年への一言メッセージを書いています。先生達にも、書いてもらっています。

「否定的な言葉を使わないこと」「相手がうれしくなるような言葉や、頑張ろうと思ってもらえるような言葉で書くこと」を目標にしています。廊下にメッセージが貼りだされると、どんな事が書かれているか、うれしそうに読む姿が見られます。

普段、部活動や実行委員会、体育祭の縦割りチームや、学校祭の全校合唱など、他学年と関わる機会はありますが、お互いの考えを知る機会は、ほとんどありません。

「にっこりメッセージ」に取り組んで良かった点は、

①他学年の人の考えを知ることができた

②自分たちが頑張っていたことを、他学年の人達が見てくれていたことを知ってうれしかった

③相手の良い所、活躍していた所などを、見つける事が得意になった等です。

これからも、自分のクラスだけでなく、他学年の人達の良い所、頑張っている所に目を向けて、自分たちの想いを伝えていき、学校全体が「うれしいな」「また頑張ろう！」という前向きな気持ちで、毎日を過ごせたらいいなと、思っています。

図書館の予約貸出サービスのご案内

町図書館では新型コロナ感染症に係る臨時休館中に図書等の予約貸出を行っておりましたが、通常開館となった際も引き続き予約貸出サービスは行っておりますのでぜひご活用ください。

予約貸出サービスご利用方法

①町図書館ホームページの蔵書検索等を利用して希望する図書の確認をする。

②図書館までご利用者のお名前、生年月日、本のタイトルや著者名、出版者等、希望受取日時をメール・FAX・電話等で職員までお伝えください。

③希望日時にご来館頂き、希望図書等の引き渡しをします。

※インターネット接続環境がない場合は、「こういった本のジャンルを読みたいので見繕って欲しい」や「子どもの月齢に沿った絵本を選んで欲しい」等のご要望についても承りますので気軽にお電話でご相談ください。

★問合先：町図書館（TEL：82-2074　FAX：85-7030　MAIL：tosyokan@shibetsutown.jp）まで

寄贈のお礼について

寄贈をしていただいた皆様、
大変ありがとうございました

手作りマスクの寄贈

新型コロナウイルス感染拡大防止策の一つとして、品薄状態が続くマスクを町民の皆様から寄贈いただきました。

様々な模様の手作りマスクは、町内各こども園及び小中学校に配布させて頂きました。ご支援ご協力に感謝申し上げますとともに大切に使わせていただきます。

味付きストローミラクルシッパーの寄贈

標津町農業協同組合青年部（桜井会長）様より、町内各小中学校の全児童生徒に「ミラクルストローシッパー(味付きストロー)」を寄贈いただきました。

この活動は、牛乳・乳製品消費拡大を目的とし、たくさんの人に乳製品を口にしてほしいと願いを込められており、毎年寄贈をいただいております。

町民を救助した 素敵な標津高校生

標津高校生の頑張りは、標津高校教育振興会発行広報誌「ひろば」を通して全町民にお知らせしています。今回は、「しべつ川」にて、令和２年３月24日に発行された標津高等学校だより(臨時号)に記載があった標津高校１年生５名の素敵な行動を、紹介させていただきます。

◆学校だよりの文面は以下の通りです。

２月の終わりに**１年生の５名が、下校途中に恵盟寮近くの道で倒れていた高齢者を救助してくれました。**生徒に話を聞くと、生徒が周囲の大人に助けを求めたのですが立ち止まってもらえず、自分たちで救急車を呼ぶなどの対応をとったとのことです。

お礼にと、高齢者の方が強引に現金を渡したそうですが、生徒はその現金を高齢者のポケットにそっと戻したと聞きました。

本人たちは、「当たり前のことをしただけです。」と言いましたが、素晴らしいですね。

本当に素敵なお話です。生徒の皆さんを前にして、直接紹介できないことが残念です。

（文責：中川雅司 前校長）

■担任は……

「５人の標津高校生が連携して町民の命を救ったことは、標津高校生徒として誇れることです。」「何かと暗い話題が多い昨今において、明るいニュースと思われます。」とお話しされていました。

■対応してくださった標津消防署救急隊員の方は……

「暗くて寒い中、高齢者の方を支えながら待っていて、状況を詳しく教えてくれたので私たちも助かりました。」

「救助を心配そうに最後まで見守ってくれた姿にも感心しました。」とお話しされていました。

標津高校生２年生（当時は１年生）の「当たり前のことが当たり前にできた行動」が素敵です。

標津町教育委員会

イベント情報 6・7月分

事業・行事名	期　日	時　間	対　象	会　場
スポーツ体験教室	6/8、29、7/13	16:00～	小中学生	総合体育館
ウォーキング広場	6/3、5、10、12、17、19、24、26 7/1、3、8、10、15、17、22、29、31	9:00～	一　般	町　内
国体一般野球支部大会	6/7	9:00～	一　般	球　場
こども元気アップ大作戦	6/11、25、7/16	9:30～	園　児	川北こども園
高松宮賜杯野球２部支部大会	6/14	9:00～	一　般	球　場
第27回町PG協会長杯パークゴルフ大会	6/14	9:00～	一　般	川北ＰＧ場
図書館カフェリブロ	6/18、7/16	10:30～15:00	一　般	図書館
こども元気アップ大作戦	6/19、26、7/14	9:00～	園　児	標津こども園
ファミリー卓球教室	6/24、26、7/1、3	19:00～	小中高一般	総合体育館
ラージボール卓球教室	6/29、7/1、6、8、13、15	10:00～	一　般	総合体育館
ミニテニス教室	6/30、7/2、7、9、14、16	10:00～	一　般	総合体育館
第43回春季町民卓球大会	7/5	9:00～	小中高一般	総合体育館
メダカ水泳教室	7/7、9、14、16	15:30～	年長の親子	プール
第16回町民親睦パークゴルフ大会	7/12	9:00～	一　般	川北ＰＧ場
第38回管内小学生卓球大会	7/12	9:00～	小学生	総合体育館
スポーツゲームスイン標津「岩崎清信氏卓球講習会」	7/18	9:00～	小中高一般	総合体育館
第２回標津卓球会長杯卓球大会	7/19	9:00～	小中高一般	総合体育館
全道朝野球町内予選会	7/19	9:00～	一　般	球　場
町高齢者スポーツ大会	7/21	9:00～	高齢者	総合体育館

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただくこともございます。詳細は各担当へお問い合わせください。

あすぱる・川北生涯学習センターイベントの中止について

開催予定日	イベント名	詳　細	担　当
6月13日㈯	標津きらり大学開校式	同大学の事業に参加いただいたことを称える称号授与式の対象者については8月発行のしべつ川にてご紹介いたします。	あすぱる
6月中	クラフトバンド手芸教室	内容：クラフトバンドを編み、簡単なかご等の作製	川北センター
6月中	第1回きらり子ども塾	内容：宿泊学習	あすぱる
7月11日㈯	サイエンスフェア（夏）	例年、夏と冬に開催しており、冬は令和3年1月23日㈯を予定しております。	あすぱる
8月9日㈰	第2回きらり子ども塾	内容：地引網体験	あすぱる

上記イベントについて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただきます。

★問合先：町生涯学習センターあすぱる（☎82-2900）／川北生涯学習センター（☎85-2224）まで

あすぱる所蔵品作品展

場所：あすぱる展示コーナー　6月・7月のお知らせ

６月展示

作　品	作　者
ぼくとアルベス兄ちゃん(2)	大井戸百合子
オオマチヨイグサ	清水　克美

７月展示

作　品	作　者
夏 水辺 オンネトウ	細見　浩
ルピナス	清水　克美

（敬称略）

▶ぼくとアルベス兄ちゃん(2)

▶ルピナス

あすぱる展示コーナーに展示する予定でしたが、あすぱるが閉館になる可能性もあるため、標津町ホームページにて紹介しております。ぜひご覧ください。

「標津町 あすぱる」で検索するか、QRコードから読み取りください。

標津町 あすぱる

※作品の展示内容は、急きょ変更することがありますのでご了承ください。